

モバイルバッテリーに使用されているリチウムイオン電池は、衝撃や損傷等により発火し、火災に至るおそれがあります。

航空機内におけるモバイルバッテリーの発火等への対応を強化し、客室安全の一層の向上を図るため、モバイルバッテリーの機内持込みについて、以下の対応をお願いいたします。



【出典】NITE

1. 機内預け入れ荷物に入れないで！

預け入れ荷物に入れることは禁止されています。
必ず機内に持ち込んでください。



2. 短絡しないように個々に保護！

予備のバッテリーパックには、端子に絶縁テープを貼る、ケースや収納袋に入れる、複数のバッテリーや金属品と同じ袋に入れないなど、短絡を防ぐこと。



3. ワット時定格量(Wh)を確認！

ワット時定格量が160Whを超えるものは禁止されています。
160Wh以下のものであることをご確認ください。
(100Whを超え160Wh以下のものは2個まで)



●●●●株式会社
定格容量: 27,000mAh
公称電圧: 3.7V (99.9Wh)



NEW

令和7年7月8日から

4. 収納棚に収納しないで！

座席上の収納棚に収納せず、お手元で保管してください。



5. 使用する際は常に状態が確認できる場所で！

機内でのモバイルバッテリーから携帯用電子機器への充電又は機内電源からモバイルバッテリーへの充電については、常に状態が確認できる場所で行ってください。



※: 1～3は航空法第86条に基づく義務事項、4・5は協力要請事項

リチウムイオン電池は、小型で大容量の電力を供給することができるため、非常に利便性の高いものである一方、熱暴走により発火に至るおそれのある危険物でもあります。

安全な空の旅のため、十分に確認をお願いします。

※外国航空会社に搭乗する場合には、各航空会社の指示に従ってください。